

教育研究評議会議事録

令和4年4月13日(水)
15時30分から17時20分まで
法人本部3階 第一会議室

出席者
議長
評議員

玉手英利(学長)
飯塚博 出口毅 矢作清 根本建二 花輪公雄 瀧瀬晃(理事)
林田光祐 大森桂 羽鳥政男(副学長)
是川晴彦 本多薫
中西正樹 津留俊英
並河英紀 宮地義之
上野義之 川前金幸
黒田充紀 今野博行
村山秀樹 渡部徹
三上英司 佐藤慎哉

陪席者

監事 渡辺均 大森夏織
小白川キャンパス長 大西彰正
学長補佐 池田弘乃 名倉明子 常松佳恵 永瀬智 高澤由美 東原知哉 藤科智海

欠席者 伊藤浩志

玉手学長から、令和4年度の本会評議員一覧及び開催日程について説明の後、新評議員の紹介があった。

- 1 【議事録】教育研究評議会(3月9日、3月22～25日持ち回り開催)議事録について
玉手学長から、3月9日、3月22～25日持ち回り開催の本会の議事録(案)について確認があり、議事録が了承された。
- 2 【報告】令和4年度山形大学予算について
根本理事から、議題に関して、報告があった。
- 3 【報告】競争的資金等に関する不正使用にかかる調査結果及び再発防止について
学長及び根本理事から、議題に関して、報告があった。
- 4 【その他】運営費交付金 成果を中心とする実績状況に基づく配分について(R4年度予算評価結果分析)
根本理事から、議題に関して、報告があった。
- 5 【協議】国立大学法人山形大学安全保障輸出管理規程の改正について
飯塚理事から、本学の安全保障輸出管理体制を見直し、安全保障輸出管理委員会の設置、統括責任者による該否判定及び取引審査の二次審査の実施等を行うための規程改正について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

6 【協議】「みなし輸出」管理の明確化への対応について

飯塚理事から、経済産業省通達の改正（令和3年11月18日公表、令和4年5月1日施行）に伴い、本学の教職員、学生等について特定類型該当性の整理等を行う等の対応が必要となるため、その取扱いについて審議願うものである旨説明があった。

次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に関して、主な質疑応答・意見は以下のとおり。

- ・申告書の提出は紙媒体かウェブか。
- ・ウェブによる提出としたい。
- ・学生の未提出者は指導教員が対応するが、教職員はどのように対応するのか。
- ・履歴書等提出されている書類を確認し、部局の安全輸出管理部門で判断いただきたい。
- ・判断基準をマニュアル等で明示していただきたい。

7 【報告】第4期中期目標・中期計画について

花輪理事から、議題に関して、報告があった。

8 【報告】令和4年度戦略本部の運営体制について

学長から、議題に関して、報告があった。

9 【報告】寄附講座の設置について

花輪理事から、議題に関して、報告があった。

10 【報告】DX推進計画について

矢作理事から、議題に関して、報告があった。

11 【報告】山形大学教員人事委員会報告について

羽鳥副学長から、議題に関して、報告があった。

本件に関して、主な質疑応答・意見は以下のとおり。

- ・研究専任特別年俸制について、「専ら研究を行う」という記述における「専ら」の意味合いを伺いたい。
- ・「専ら」については、専任という意味であり、講義等は担当いただかないことになる。
- ・例えば教授が研究専任特別年俸制に転向するとなった場合、余剰ポイントはどうなるのか。
- ・余剰ポイントについてはキャンパスに戻すこととなる。
- ・今後のスケジュールを早めに提示いただきたい。

12 【報告】男女共同参画にかかるアンケート結果について

大森副学長から、議題に関して、報告があった。

13 【報告】令和4年度入学試験実施状況（確定）について

出口理事から、議題に関して、報告があった。

14 【報告】山形大学認定研究グループ等の期間更新について

飯塚理事から、議題に関して、報告があった。

15 【報告】令和4(2022)年度科研費の採択状況について

飯塚理事から、議題に関して、報告があった。

16【報告】令和4年度「山形大学山澤進奨学金」等の新規採用者について
矢作理事から、議題に関して、報告があった。

17【その他】研究力の強化について
飯塚理事から、議題に関して、報告があった。

18【その他】第三者評価又は外部評価の実施について
花輪理事から、議題に関して、報告があった。

19【その他】教育研究評議会の開催時間について
学長から、次回より本会の開催時間を変更することについて報告があった。

20 その他

教員人事委員会に検討願いたい事項として、評議員より以下の意見があった。

- ・若手枠に関して、35歳未満という制限がライフイベントと重なるためか女性の応募が集まりにくい。若手枠と女性枠の併願についてご検討願いたい。
- ・ダイバーシティ枠等は、ある程度の経験を有する方が対象の場合がある。現在は公募の際に職位を指定する必要があるが、「講師又は准教授」のように二つ挙げられるよう検討願いたい。

次回は、令和4年5月11日（水）に開催することとなった。